

『Hokuryo Orientation Program』とは

ご入学おめでとうございます。お子様達は今日、夢と希望を抱いて北陵高校の門をくぐったことでしょう。そして、これから始まる北陵高校の生活に対して期待と不安の入り交じった思いで入学式に臨んだことと思います。『この北陵高校が、充実した3年間を過ごしていける場であり、自らの夢を実現させる場なのである』ということ、新入生ひとりひとりがしっかりと胸に刻んでほしいと思っています。そして、高校入学の目的や高校生活の意味をしっかりと確認して、『北陵でやっていこう！』という意欲と希望を持たせたいと考えています。

中学校と高校の学習にはかなりの違いがあります。高校の授業の進度は中学校に比べて速く、授業に対応するには家庭での予習と復習が不可欠となります。安易に予備校や塾に頼るのではなく、学校の授業を中心とした主体的な学習習慣を確立することが何よりも大切になってきます。そして一年後、『ともに頑張っている仲間がいる』という仲間との信頼を感じられる学習集団に育ってくれることを願っています。

基本的な生活習慣を身につけ、学習と部活動を両立した生活スタイルを確立させるために、私たち教職員一同、保護者の皆様と協力しながら生徒をサポートしていきたいと思いますので、どうかご協力をお願いいたします。

このように、生徒が中学校と高校の違いを理解し、高校生として相応しい生活や学習スタイルへスムーズに移行できるように指導することはそれ以降の高校生活に大きな影響を与えることになります。そこで早い段階から様々な場面で生徒に働きかけ、いち早く『北陵生』に脱皮させる取り組みが、札幌北陵高等学校導入期指導『Hokuryo Orientation Program (HOP)』です。

●●●保護者パンフレットについて●●●

『HOP』のひとつとして、保護者の皆様にも北陵高校をより理解していただけるように、このパンフレットを作成しました。北陵高校の行事がいつ頃あり、それがどのような意味を持つのか、ご家庭でどのように準備したら良いのかを前もってお知らせします。北陵高校での学習や生活について、保護者の方ができるだけお子さんとコミュニケーションを持って頂き、生徒が笑顔で学校に通うことができる一助となればと思っています。

また、導入期指導では「北陵われら 2017」という冊子を用います。なお、ホームページや「学校だより」等で学校の様子を随時、発信していきますので併せてご覧ください。



高校に入学すると、通学時間・授業進度・宿題の量・昼食の形態(弁当)など…大きな環境の変化があります。3か月くらいはどのお子さんも心身ともに緊張の連続です。家庭のサポートが必要不可欠です。ですのでお子さんとのコミュニケーションを大事にしてください。

◎対面式・生徒会オリエンテーション

先輩たちとの顔合わせ。生徒会が中心となって、これから始まる学校生活や行事、部活動などを紹介します。

◎スタディーサポート

中学校までの学習方法・生活習慣や学力を検査するものです。これまでの学習を客観的に振り返り、これからの学習について個別にアドバイスするデータが返ってきます。

◎宿泊研修

これからの高校生活への理解、仲間の理解、クラス作り・仲間作りを目的として実施されます。この2泊3日で、いち早くお子さんが「高校生」になられることを期待しています。

- ・期日：4月19日（水）～21日（金）
- ・場所：国立大雪青少年交流の家



5月になると授業も平常化してきます。お子さんには疲れも見えてくる頃です。この時期を乗り切るコツは、規則正しい生活のリズムを身につけることです。長距離を走る時も自分にあったリズムを見つけ、身につけることが大切。高校生活も同じです。

◎大型連休

連休前に、各教科から課題が出されます。連休だからといって遊んでばかりいると、連休終盤には課題の山…ということになってしまいます。休み中も計画的に学習に取り組むようご家庭でもご指導よろしくお願いします。

◎春季大会・高体連大会

体育系の部活動はこの時期が1年で最も活動に熱を帯びる時期です。3年生の部活動にかける思いを肌で感じてほしいと思います。同時に、文武両道の習慣づけの時期です。部活動が活発になる時期だからこそ、意識して学習時間を確保し、自分に合った生活のリズムを作り上げたいものです。

◇学業と生活習慣

入学から1ヶ月、大型連休を迎え時間的余裕が生まれます。スカートを短くしたり、連休中に髪の毛を染めてみたり…「これくらいはいいだろう」という気持ちが芽生える生徒も出てきます。残念ながら、生活が乱れた生徒の学力は往々にして低下の一途を辿ります。まだまだ高校生活のスタート時期ですが将来を見つめ、生活習慣を崩さないよう御家庭でも御指導をよろしくお願いします。



高体連大会も一段落。前期の中盤に来ました。そろそろ落ち着いて学習に取り組んでいることでしょう。前期中間考査が行われます。「高校入学後、最初の定期考査」が持つ重い意味を十分に理解し、後悔しないようにしっかりと準備をすることが大切です。

◎前期中間考査

北陵高校では半期に2回、年4回の定期考査があります。

考査範囲・時間割は2週間前に発表され1週間前からは原則部活動禁止となります。なお、成績は各家庭に発送されます。

◇中間考査を前に

毎年のことですが、中学生時代にそれなりの成績を残してきたにも関わらず、この中間考査で

【今まで見たことのない順位】を突きつけられ、やる気を失ってしまう生徒が少なくありません。

この最初の定期考査で大切なことは、とにかく「万全の準備をすること」。たとえ、結果が悪くても、ベストを尽くし、そこから見えてくる課題を克服するため、次の定期考査に向けて、対策を立てていけば良いのです。「もっとやればできたけど、今回はやらなかったから」というような生徒はその後もずっと同じ言い訳をし続け、結果として第一志望の大学に合格することは難しくなります。

この1回の定期考査ですべてが決まるわけでは全くありませんが、だからといって最初から軽く考ず、次へのステップとなる結果が得られるよう、しっかりと準備をさせてください。



6月の中間考査が終わると、一気に学校全体が学校祭ムード一色になっていきます。そして、模擬試験、夏休み、夏期講習、部活動…。お子さんが行事に、学習に、バランスよく取り組まれているかどうか、注意してご覧になっていただきたいと思います。

◎北陵祭 7月6日（木）～8日（土）

北陵高校最大の生徒会行事です。一般公開日にはお子さんの創り上げた作品をご覧になり足を運びいただきたいと思います。学習とともに行事にも主体的・意欲的に取り組む生徒であってほしいと願っています。

◎進研模試

1年生では7月、11月、1月と年に3回の模擬試験があります。

◎夏休み・夏期講習

夏休みに入るとすぐに夏期講習が始まります。北陵高校では1年生は原則全員参加の3教科講習となります。



長い夏休みも夏期講習や部活動、やりたいこと、やらなければいけないことが盛りだくさんで、むしろ「時間が足りない」と感じるお子さんもいるかと思われます。休み明けには学習確認テストがあります。時間を有効に使うことを学ぶのも大切な勉強です。

◎学習確認テスト

休み明けすぐに実施されます。夏休みの課題や夏休み直前までの学習内容が範囲になります。夏休みの終盤は「考査直前」という意識を持って、ご家庭でも指導していただければと思います。

◎体育大会

前期最後の生徒会行事。総合優勝を目指して白熱した試合が展開されます。ソフトボール、サッカー、バスケット、バレーなどの球技のほか、クラス対抗のリレーや長縄跳びなど、汗を流しながらクラスが一丸となって取り組む行事です。

3年生の協力のパワーの前に1年生がどこまで対抗できるかも楽しみの一つです。



この9月を終えると前期が終了。北陵高校では2期制を採用しているので、ここで成績がつけられ、通知表が保護者の皆様のお手元に届けられることになります。お子さんの今後の高校生活にとって、この半年が確実な第一歩となったかどうか、振り返ってください。

◎前期期末考査

中間考査よりも科目数が増えるため4日日程となります。期末考査が終了すると前期の成績がつけられ、前期評定が決定します。成績は各家庭に発送されます。

◎学校公開

北陵入学を目指す中学3年生に北陵高校を紹介する機会です。受付や部活動紹介など、毎年多くの生徒がお手伝いとして参加してくれます。

◇失敗から学ぶ

1年の半分は過ぎましたが、高校生活3年間という期間で考えれば、まだ序盤。中学時代に思い描いていた高校生活とどこが違って、どこが予想通りだったのか、これから先2年半の高校生活を考えて、現在の自分には何が足りないのか、どう変わっていくべきか、前期の半年間を振り返って、じっくりと今後の方針をお子さんと話し合っていたいただきたいと思います。仮に、現在のお子さんの状況が当初思い描いたとおりにないとしても、そのことを糧に今後頑張っていけるのだとしたら、この半年は立派な「第一歩＝HOP」になったと言えるのではないのでしょうか。大切なことは「失敗しないこと」ではなく、「失敗から学ぶ」ことだと考えます。

第1学年からのお願い

緊張・期待・不安・疲労の4月

しっかりとお子さんを見守っててください。

「初対面の仲間、初対面の先生方、初対面の時間・空間」子供たちは経験のない緊張の中「いくばくかの期待感」と「漠然とした不安」を抱えて高校生活をスタートさせました。

私たち教職員は、いい意味でこの緊張を維持させつつ、要らぬ不安を早く払拭し「**自分はこの北陵でやっていける。この北陵で自分を鍛え、自分を拓き、自分を作っていくんだ**」という「モチベーション」に昇華させるべく、しっかりと子供たちと向き合っていきたいと思います。保護者の皆さんには学校での指導にご理解をいただくとともに、しっかりとお子さんを見守ってあげてください。そして、何か不安や心配があれば、遠慮なく学校にご一報ください。私たちは、保護者の皆さんと共に子供たちの成長をサポートしていきたいと思っています。どうぞ、宜しくお願いします。

生活のリズム作りが一番です。まずは早寝早起きから

S H Rは 8:40 に始まりますが、8:35 より朝学習を行い、落ち着いた雰囲気での一日のスタートを切りたいと思っています。そこで早めに家を出る習慣づくりをお願いします。また、欠席せずに元気に登校できるよう、必ず朝食を摂らせるなどの健康管理をお願いします。

なお、欠席・遅刻する場合は、保護者の方が学校に連絡するようお願いいたします。

(7時50分～8時15分 TEL 772-3051)

学校の授業を中心とした主体的な学習習慣の確立が何よりも大切です

学校での授業と講習、授業を理解するための家庭学習、これだけをしっかりと取り組めば、お子さんの進路実現は十分に果たすことができます。実際に先輩達もそうやって夢を叶えてきました。本校の講習は全員受講、模擬試験は全員受験となっています。授業や講習で配られた教材を、理解するまでしっかりと使い込むことにより受験に必要な力が養われてゆきます。

高額な教材や予備校の勧誘に惑わされることなく、学校を中心とした学習を心がけてください。

学校からの情報に耳を傾けてください。学校に足をお運び願います

高校生ともなると学校からの配付物を見せない生徒も多くなりますが、是非とも配付物には目を通してください。また、1年生では下記のように直接保護者の皆さんに学校にお越しいただき、懇談する機会を設けています。是非とも多くの来校をお願いします。

① 6月上旬 授業参観、全体懇談、クラス懇談、(希望者は)個人懇談

② 11～12月 二者(三者)懇談会

※近くなりましたら、担任より連絡いたします。

北海道札幌北陵高等学校 TEL 011-772-3051 Fax 011-772-3052

生徒一人一人を育てる北陵高校「独自」の教育課程システム

□ 45分×7時間授業で基礎から応用まで

授業中心の学習スタイルによって、放課後の活動（部活動等）で+αの自分を活かす！

□ 生徒の成長に応じた授業を展開できる二期制

1年間の前期（4月～9月）と後期（10月～3月）に分けて教育課程を編成し、それぞれの学期で単位認定するシステムです。

【北陵高校の二期制のサイクル】

〈1年生〉	〈2年生〉	〈3年生〉
（1年～2年前期） 基礎育成期	（2年後期～3年前期） 実力伸長期	（3年後期） 進路達成期 進路別コース

↑

類型別（理型・文型）クラス編成

□ 二期制を活用した「3ステージ制」

2年後期から「類型」に分かれ、3年後期はさらに細分化された「進路別コース」に進み、基礎学力を定着した上で、個に応じた発展・応用学習を可能にします。

1stステージ【基礎育成期】（1年～2年前期）

入学後の1年半は、基礎学力を育成するために全員共通科目を学習します（芸術、日本史Aまたは地理Aは選択）。この期間の教育課程は進路実現に必要な基礎固めとして、国語・数学・英語を重点的に学習できるようにしながらバランスの取れた編成がなされています。

※高校入学後1年以上かけ、学習内容や自己の特性を理解した上で、類型選択（理型・文型の選択）をし、2ndステージへ進むことができます。

2ndステージ【実力伸長期】（2年後期～3年前期）

2年後期からは類型（理型・文型）に分かれた教育課程となります。類型別のクラスに所属し、個々の進路実現に向けた教科科目を選択して学習することができます。

3rdステージ【進路達成期】（3年後期）

3年後期は生徒一人一人の進路希望に応じて細分化した「進路別コース」を新しく設定します。選択科目を多く配置し、各自の進路希望に応じた科目を選択して学習します。受験科目においては、実戦力・応用力を高める内容や演習を中心とした授業展開（2時間連続授業・目的別授業）を行います。

～北陵の教育課程システムを活用して 夢をつかむ！～

生活について

明るく、元気で、けじめのある北陵生になるために

指導上の重点事項（生徒指導）

1. 秩序ある基本的生活習慣を確立する態度や自立的にルールやマナーを遵守する態度を育成する。
2. 多面的な生徒理解に努めるとともに、地域や家庭との連携を図る。
3. 自他の生命を尊び、思いやりのある心を育成する。

（北海道札幌北陵高等学校 学校教育計画）

※ 生徒には『生徒手帳』『北陵われら』を通して指導しています。

保護者の方へお願い！

- 時間をしっかり守らせる習慣づけをお願いします。
規則正しい生活の援助をよろしくお願いします。

欠席・遅刻連絡は保護者の方が直接、学校まで連絡して下さい。

- 頭髪・服装の加工は厳禁です。

外観よりも内面の育成に協力をお願いします。

- 『知育』『徳育』『体育』

+『食育』の協力をお願いします。健康第一！

- 人間形成、進路支援、学力向上などの視点から

『家庭での会話』を大切にして下さい。

- 生徒一人ひとりに目を向け、生命尊重を大切に考えます。
体調の変化や生徒の安全面など気がかりなことなど。

学校との連携にご協力をお願いします。

本校の進路指導～学習サイクル確立のために～

●将来、社会の一員として活躍できる人材となるために

将来、自分が本当に進みたい道に進み、そこで活躍するためには、「自分で学習サイクルを確立すること。」が必須です。自分で学習する習慣ができていないと、希望の大学に受からない、希望の職に就けない、就職しても業務を満足にこなせない等、自分のライフプランが実現できなくなります。自分の本当の実力がわからず、ライフプランすら描けないかもしれません。本校は自己の資質能力向上のため「学習サイクル（予習(家庭学習)→授業(学校)→復習(家庭学習)）」を確立したいと考えております。学習サイクルをしっかりと回していくためにも、ぜひご家庭で家庭学習の時間確保と学習環境の確保にご協力お願いいたします。

●授業の完全理解がすべて 日々の課題にしっかり取り組むことで学びの深化が図れる

学習サイクルを回していくため、国語・英語・数学を中心に多くの教科で家庭学習用の課題が出されます。課題は自分で考え、自分で調べ、自分で疑問点を解決させていくことが大切です。これらに手を抜かずに取り組むだけで家庭学習でかなりの時間が必要になります。無駄な時間を減らし、課題に真摯に向き合う時間の確保が欠かせません。

●塾や予備校に通わせなくても大丈夫？

電話などで塾や予備校などから様々な勧誘があると思います。本校でこれまで第1志望校や難関大学に合格している生徒の多くは、学校の授業にきちんと準備をして臨み、課題や講習、さらには教科・科目で指定した副教材を完全に理解できるまでしっかり使いこんできました。そのためには相応の家庭学習の「試行錯誤」の時間が必要になります。これは志望校合格のための「遠回りに見える勉強方法」に見えるかもしれませんが、「試行錯誤」が受験時の本当の力になります。塾や予備校の利用を制限したりはしませんが、本校での学習と塾や予備校との学習が両立できず、かえって伸び悩むことがよくあります。また、北陵の教職員は昼休みや放課後なども、生徒個々の質問にしっかり応じます。

1度きりの高校生活です。部活動やHR活動などにも積極的に参加し、仲間と共にすごす北陵での生活を大切にしてほしいと思います。

●講習は全員参加

本校生の多くが希望する国公立大学へ合格者を出すようになった大きな要因のひとつに、講習の取り組みがあげられます。卒業生から「講習のおかげで力が付いた」という感想も数多く寄せられています。1年生は国語・数学・英語の講習を夏季・冬季・春季の長期休業中に行う予定です。

●将来像を思い描いて…

入学してすぐに3年後の進路を考えるのはなかなか難しいかと思われます。しかし、高校卒業後の進路は十人十色。そして、その進路によって人生の方向性が決まることさえあります。お子様が様々な方向にアンテナを張り、10年後の自分に思いを巡らせながら、自分の可能性を知り、それを信じ、自分の道を切り開いてゆけるよう本校職員も最大限支えます。保護者の皆さんもお子様を温かく応援していただけますようお願いいたします。

卒業生の進路状況

43期(平成29年3月卒業)生 大学・短大等の現役合格数(3月30日現在)

国公立大学	合格者数
北海道大	3
小樽商大	11
札幌医科大学	1
札幌市立大	2
旭川医科大	1
北海道教育大札幌校	5
北海道教育大旭川校	2
北海道教育大釧路校	3
北海道教育大函館校	7
北海道教育大岩見沢校	7
名寄市立大	5
北見工大	1
室蘭工大	16
はこだて未来大	2
釧路公立大	1
弘前大	4
秋田県立大	1
青森県立保健大	1
都留文科大学	1
東京海洋大	1
首都大東京	1
横浜国立大	1
高崎経済大	4
金沢大	1
金沢美術工芸大	1
神戸市外大	1
高知大	1
合 計	85

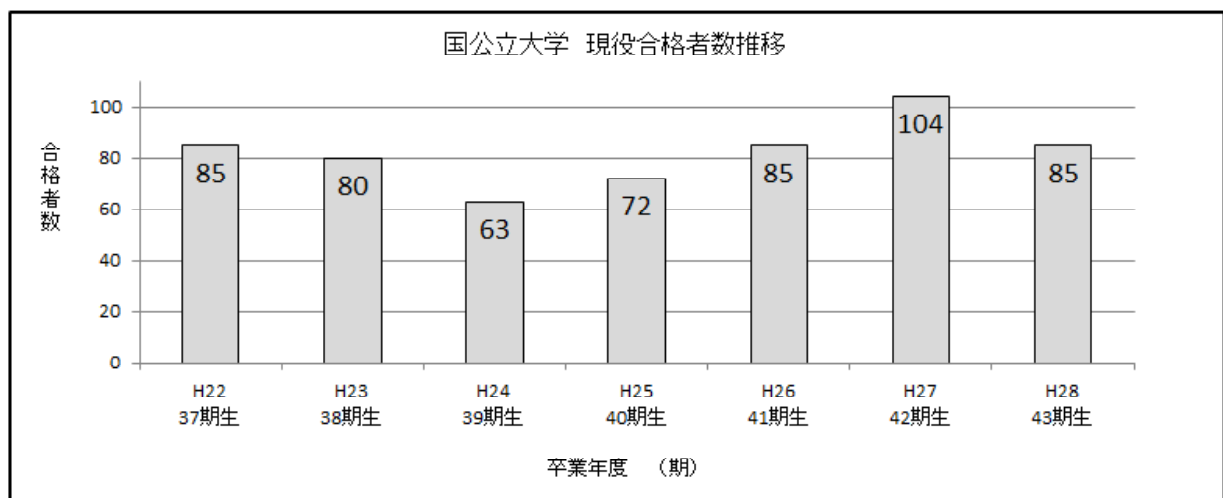
私立大学	合格者数
北星学園大	22
北海道医療大	42
藤女子大	28
北海学園大	135
天使大	5
北海道科学大	85

札幌学院大	24
北海道文教大	16
札幌大	15
千歳科学技大	5
酪農学園大	4
北海商大	5
日本医療大	5
札幌大谷大	2
札幌保健医療大	13
北海道情報大	2
北海道薬大	4
札幌国際大	2
北翔大	1
千歳リハビリ大	3
青山学院大	1
神奈川大	1
芝浦工大	1
上智大	1
創価大	6
多摩美大	1
千葉工大	1
東洋大	1
東海大	4
法政大	1
明星大	2
明治大	3
明治学院大	1
立教大	1
早稲田大	1
文化学園大	1
国際医療福祉大	1
関西大	1
関西学院大	1
京都産業大	3
近畿大	1
同志社大	4
立命館大	2
岡山理科大	1
合 計	459

短期大学	合格者数
北海道武蔵女短	20
北星学園大短大	3
札幌大谷大短大	7
光塩学園女子短大	5
札幌国際大短大	4
北海道科学大短	1
北翔大短大	1
合 計	41

専門学校	合格者数
医療系(看護)	28
医療系(その他)	9
簿記・情報・ビジネス系	2
調理系	5
福祉系	0
ファッション・芸術系	1
放送音楽系	4
保育系	0
公務員養成系	0
動物系	1
その他	4
合 計	54

公務員・その他	合格者数
札幌市消防	2
江別市消防	1
小樽市消防	1
伊達市	1
北海道一般行政	1
陸上自衛隊	1
合 計	7



★ 第43期生の特徴 ★

- ① 例年より道外国公立・難関私大へチャレンジするものが多かった。
- ② 高い目標を掲げ、特に3年次から進路室等で自習する生徒が多く見られた。
- ③ 中期後期まで粘り強く努力する生徒が多かった。

プラス α を支える力 「自分創り」のための生徒会活動

「進学+ α 」の α の部分を支えるのが生徒会活動です。北陵の生徒会は、生徒会長、副会長をはじめとする役員と本部員で構成され、顧問教師団と連携しながら生徒が中心となって自主的に幅広い活動を行っています。

生徒会の主な目標は以下の三つ

- (1) 生徒会活動を通して、自らが「考える」「創造する」「働く」喜びを学ぶ姿勢を身につける
- (2) 一人一人が生徒会活動に積極的に参加し協力しあって、目的を達成する行動力とまとまりのある集団づくりを目指す。
- (3) 日常的な自治活動を促進し、学校生活の向上を図る姿勢を身につける生徒会活動は主に学校行事と部活動に分けられます。

学校行事

学校行事の代表的なものが7月に行われる北陵祭です。北陵祭は勉強では計ることの出来ない能力や個性発揮の場です。また、集団が協力し合ってものを「創る」作業を経験することは、自分を「創る」ことにもつながっています。「自分探し」がよく言われますが、自分の持つ素材を自ら再構築して自分を「創る」ことこそが重要と考えます。また、8月には体育大会があり、クラスの団結力を示す場になっています。

部活動

部活動への加入は8割以上で、野球部、サッカー部をはじめとする21の体育系部活動では多くの生徒が活気に満ちた活動を行っています。未経験者でも卒業までに有段者になれる弓道部や、札幌市内でも数少ないハンドボール部、少林寺拳法部、チアリーディング同好会があるのも北陵の特徴の一つと言えます。また、演劇部をはじめ、美術部、吹奏楽局、合唱部などの文化系部活動は13あり、やはり活発に活動しています。

勉強と部活動は両立しないと考える方もいらっしゃるようですが、必ずしもそれは正しいとはいえません。我々は車の両輪のようなものだと考えています。右だけが強く回転すれば左に曲がり、左が強く回転すれば右へ曲がってしまう・・・前を見据えてまっすぐに進むためには両輪がバランスよく回転することが大切なのではないのでしょうか。

勉強も、部活動も…どちらかではなく、どちらも頑張らなくては真に充実した高校生活にはならないのではないのでしょうか。部活動は人間形成の場でもあるのです。

その他の活動 ―ボランティア活動

ボランティア活動委員会が企画、立案をし、全校生徒にボランティア活動を呼びかけて、多くの生徒が参加し、有意義な活動を行っております。「できるときに」「できる範囲で」をモットーとしています。(花壇整備、落ち葉拾い、手話講習会、保育園との交流、養護学校との交流、社会貢献活動、環境教育活動など)

制服の正しい着方

生徒指導部

ボタンをしっかりしめること。ネクタイリボンを上げよう。

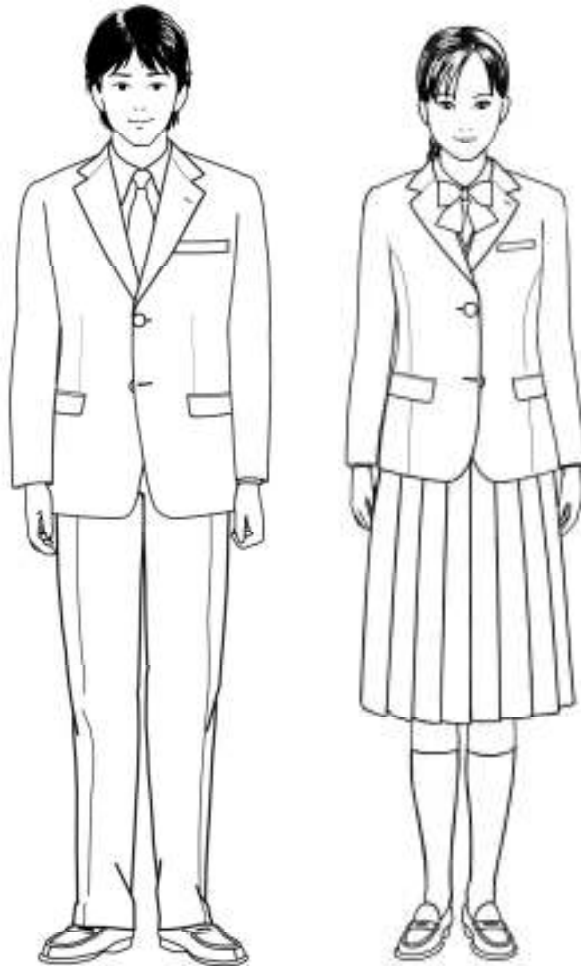
ソックスは必ず履くこと。

上靴のカカトを潰さないこと。

スカートを折らないこと。

ズボンを下げてはかないこと。

ズボンの裾をまくり上げないこと。



男子

- ・ 濃紺のブレザー
- ・ ワインカラーのネクタイ
- ・ 白無地のワイシャツ（えり腰つき）
- ・ ブルーグレーのスラックス

女子

- ・ 濃紺のブレザー
- ・ ワインカラーのリボン
- ・ 白無地で角または丸えりのカッターブラウス（えり腰つき）
- ・ 膝が隠れる長さ～膝下（膝蓋骨下限）10 cm
- ・ 黒か紺または肌色のストッキング
- ・ ソックスは黒・紺・白の無地（ただしワンポイントまで可）

健康・教育相談について

保健室から

保健室は、生徒が自分の健康に関心を持ち、健康な生活を維持できるよう支援する場です。お子さんの健康面などで気になることがありましたら、担任の先生を通じて連絡していただきますようお願いいたします。

思春期はさまざまな心の葛藤が起きる時期でもあり、対人関係に悩んだり、進路や生きることに悩んだりもします。場合によっては、食事を摂らなくなったり頭痛や吐き気などの症状が出てくるなど、その悩みが身体に表れる事があります。日常のご家庭での食事・睡眠・休養など、生活のリズムや健康面に十分配慮していただき、また会話を通じてコミュニケーションを図り、お子さまの健康状態の把握に努めていただきたいと思います。昼食は、成長期の高校生にとっては栄養価が高く、バランスの取れた食事が重要です。本校には売店がありますが、軽食のみの販売になっています。日々お忙しいとは思いますが、できるだけ弁当を持たせていただきたいと思います。また、お子さん自身が自分で弁当を作ることも食への意識を向上させる機会になると思います。

保健室では、保護者の皆様と一緒にお子さまの成長を見守っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

教育相談の係から

高校生活が始まります。これからの3年間で、お子さんが健やかに成長することを心から望みます。しかしながら、高校時代の3年間は平坦な道ではありません。道の途中には、何らかの悩みが出てきます。感受性豊かな高校時代だからこそ、その悩みは深く大きなものになることもあります。その悩みに自分自身で向き合い、自分自身で対応できた、その時にこそお子さんの真の成長があります。

我々大人は、それぞれの人生経験でそのことをさとっています。子供達が悩んでいる時には、その経験を子供達に伝えることが大事なのではないでしょうか。具体的・現実的には、お子さんの話を聴いてあげることが最も重要になります。本校の教員もそれを心掛けています。お子さんの健やかな成長のために、お互いに協力して支えていきましょう。

本校には「相談室」があります。お子さまの相談については担任が中心になりますが、相談係の教員もいます。また、今年度も月に2回、スクール・カウンセラーが来校します。どのようなことでも良いので相談してください。

【スクール・カウンセラーの利用について】

1 実施予定日および時間帯 9:30～12:30

① 4/17 ② 5/8 ③ 5/26 ④ 6/5 ⑤ 6/23 ⑥ 7/14 ⑦ 8/28 ⑧ 9/8 ⑨ 9/22 ⑩ 10/13
⑪ 10/30 ⑫ 11/10 ⑬ 11/27 ⑭ 12/8 ⑮ 12/18 ⑯ 1/26 ⑰ 2/5 ⑱ 2/16 ⑲ 3/2 ⑳ 3/16

※ 10月あるいは11月に、1回追加の予定 (計 20回)

2 場 所 相談室

3 対象者 生徒、保護者、教職員

4 申込方法 担任、または教育相談係(馬場教諭)に連絡してください。

北陵高校のPTA組織と活動内容

今年度からPTA規約を改正し、次のように組織する予定です。（正式には4月下旬に行われるPTA総会にて決定します。）

活動については入学式後のPTA入会式で説明いたします。

●運営委員（仮称）

PTA活動にご協力いただける方から、研修担当委員・海外研修担当委員・広報担当委員のいずれかに所属してもらいます。各担当委員から委員長、副委員長を選出いたします。

研修委員	海外研修委員	広報委員
①会員の研修や親睦に関することを目的に活動します。 ②教養講座や研修会の企画・運営を行います。	①国際交流の準備 ②歓迎会（ウェルカムパーティー）の準備 ＊7月、屯珍館（児童会館）で実施しています。	①学校・PTA行事や子どもたちの様子を取り材し、年3回の広報紙「北陵だより」を発行します。

●委員長・副委員長の役割

◎年4～5回の役員会へ出席し会務について協議します。

◎近隣校との交流会等へ参加します。



ウェルカムパーティーの様子



PTA役員会の様子



教養講座の様子（ヨガ体験）



教養講座の様子（陶芸体験）



北陵祭の様子。PTAバザー（焼き鳥・かき氷）には役員等を問わずたくさんの保護者の皆様に参加をお願いしています。



平成28年度PTA活動報告(～10月)

月	日	曜日	事業名・内容	場所	参加者・参加人数	担当委員会
4	13	水	平成27年度第4回PTA・後援会役員会	本校	保護者8名 学校7名	
	28	木	平成28年度PTA・後援会 合同定期総会	本校	保護者25名 学校9名	
5	27	金	北海道高P連石狩支部総会		会長、校長	
6	7	火	第1回PTA・後援会役員会及び第1回拡大役員会	本校	保護者28名 学校9名	役員会
	11・12	土日	第66回北海道高等学校PTA連合会大会 道南大会 〈講演・分科会参加及び交流〉	函館市	役員5名、教頭、事務局員 計7名	
	14	火	1年保護者懇談会	本校	保護者117名	
	15	水	2・3年保護者懇談会	本校	2年保護者98名 3年保護者97名	
	22・23	水・木	平成28年度生徒指導研究協議会 〈研究協議会〉	第二水産ビル	会長 教頭 教員	
7	12・14	月・水	スクールバスダイヤに関する要望書提出	中央バス営業所	副校長、事務局員	
	7	木	北陵祭 行灯行列の交通整理	屯田地区	役員・学級委員14名	
	9	土	国際交流生徒のホームスティ受入れ(～12日(火))	会員家庭	会員8家庭	海外研修委員会
			国際交流生徒のPTA主催歓迎会(屯珍館)	屯珍館	米国側20名、学校側36名 計56名	海外研修委員会
			北陵祭 PTAバザー	本校	役員・学級委員26名	
	16	土	第1回教養講座(本校主催) 〈リンパヨガ講座〉	本校	保護者15名 教頭、事務局員 計17名	研修委員会
	21	木	PTA広報「北陵だより」発行(第123号・年度第1号)			広報委員会
8	3～4	水・木	平成28年度学校保健活動研修会 〈講義〉	北海きたえーる	会長 教頭	道高P連から参加依頼
	24～26	水～金	第66回全国高等学校PTA連合会大会 千葉大会 〈講演・分科会参加及び交流〉	幕張市	役員4名	
9	9	金	高P連石狩支部視察研修会 〈施設見学及び交流〉	千歳市ほか	役員・学級委員8名 教頭 計9名	
	18	日	第2回教養講座(本校主催) 〈本校OBである外山啓介ピアノリサイタルの鑑賞〉	札幌コンサート ホールkitara	保護者28名、教員2名 計30名	研修委員会
	29	木	PTA広報「北陵だより」発行(第124号・年度第2号)			広報委員会
10	13	木	北海道高P連石狩支部教養講座 〈講演会〉	ホテルライフオー 札幌	保護者8名	
	21	(金)	石狩支部北地区6校PTA合同研修交流会 〈講演と交流会〉 当番校(石狩翔陽)	シャトレ・ゼガトーキ ングダムサッポロ	役員・学級委員8名 校長、副校長、教頭 計 11名	
	14	月	第2回PTA・後援会役員会	本校	役員12名 学校5名	役員会

※PTA会則・後援会会則等、および平成29年度活動予定はPTA総会資料に掲載します。

授業料、就学支援金、奨学給付金及び奨学生の募集について

1 授業料等の納付について

道立高等学校は、北海道条例に基づく授業料のほかに学校諸費（PTA会費・後援会費・生徒会費など）の納付をお願いしております。

毎月の納付は、指定口座からの口座振替により納付していただきます。

平成28年度の振替額については、別紙①を参照願います。

別紙①→「平成28年度授業料・学校諸費月別口座振替額一覧表」

2 授業料の納付及び高等学校等就学支援金制度について

道立高等学校は、授業料を納付していただくこととなっておりますが、高等学校等就学支援金の受給資格の認定を受けた生徒は、就学支援金と授業料が相殺され、授業料を納付する必要がありません。

就学支援金制度の概要については、別紙②を参照願います。

別紙②→「授業料の納付及び高等学校等就学支援金制度について（概要）」

3 高校生等奨学給付金について

北海道教育委員会では、高等学校に在籍する生徒に対して、授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生がいる非課税世帯に対し、返還の必要のない「奨学のための給付金」を支給します。

奨学給付金の概要については、別紙③を参照願います。

別紙③→北海道公立高校生等奨学給付金制度のご案内

4 奨学生の募集について

平成28年度の奨学生募集は、札幌市奨学生、北海道高等学校奨学会などの各種奨学金制度があります。

募集内容については、各クラス担任を通じて随時ご案内します。

また、その他の奨学金等についても募集がありしだい事務室前に掲示するなどして、お知らせします。

4月期の募集内容については、別紙④を参照願います。

別紙④→平成28年度奨学生の募集について

平成28年度 授業料・学校諸費用別口座振替額一覧表（第1学年）

単位：円

区 分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	合計
① 授業料	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	19,800	118,800
学校諸費用	PTA会費	600	600	600	600	600	0	0	0	0	0	3,600
	後援会費	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	0	0	0	0	0	17,400
	生徒会費	1,800	1,800	1,800	1,600	1,600	0	0	0	0	0	10,200
	② 小計	5,300	5,300	5,300	5,100	5,100	0	0	0	0	0	31,200
③ 振替額合計 (① + ②)	15,200	15,200	15,200	15,000	15,000	15,000	9,900	9,900	9,900	9,900	19,800	150,000
口座振替日	4月25日	5月16日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月17日	11月15日	12月15日	1月16日	2月27日	

○ 高等学校等就学支援金の受給資格認定を受けた方は、就学支援金と授業料が相殺されるため授業料を納付する必要はありません。
 （支援金の受給資格認定を受けた方は②小計欄の額、支援金を申請しない方は③振替額合計欄の額を振替）

○ 口座振替日の前日までに、口座に入金されますようお願いいたします。
 （残高不足等により口座振替ができなかった場合は、現金で納付していただくことになります。）

○ 兄弟姉妹が在学している場合、PTA会費は一人が定額、他は半額となります。
 全額納入後に半額分をお返しいたしますので、ご了承ください。

授業料の納付及び高等学校等就学支援金制度について（概要）

別紙②

平成 28 年 4 月

1 制度の概要

平成26年度4月入学生から公立高等学校授業料無償化に所得制限が導入され、高等学校等就学支援金制度が適用されます。

高等学校等就学支援金（以下、「就学支援金」という。）の受給資格の認定を受けた生徒は、就学支援金（月額9,900円）と授業料（月額9,900円）が相殺され、授業料を納付する必要がありません。

2 制度の対象者

平成26年度4月の入学者から対象となります。

（平成25年度以前入学の在校生については卒業まで、現行の「無償」を継続）

3 就学支援金の具体的内容

【**受給資格**】次の在学要件と所得要件を満たす必要があります。

【**在学要件**】高等学校等の通算在学期間が全日制で36月を超えていないこと。

【**所得要件**】保護者等全員の市町村民税所得割額の総額が304,200円未満の世帯であること。

【**所得確認方法と時期**】

＜**新1年生**

4月 受給資格認定申請書、平成27年度特別徴収税額の決定通知書等を提出
→支給決定通知（4月～6月分） ※不認定の場合は4月分から授業料徴収
※ 支援金を申請しない場合（所得限度額以上）は授業料徴収

7月

（4月に受給資格の認定を受けた生徒）

① 収入状況届、平成28年度特別徴収税額の決定通知書等を7月末までに提出した場合

所得限度額未満 → 支給額通知（7月～翌年6月分）

所得限度額以上 → 資格消滅通知（7月～翌年6月分）

※ 受給資格が消滅し、翌年7月に再度認定申請を要する。

② 収入状況届を7月末までに提出がなかった場合

→ **一時差止通知**（7月～翌年6月分）

※ 受給権者の地位は維持され、事後に**正当な理由**が認められれば7月に遡及して支給

（新たに支給要件を満たす生徒（所得制限未満となる場合））

受給資格認定申請書、平成28年度納税通知書等を提出

→ 支給決定通知（7月～翌年6月分）※不認定の場合は7月分から授業料徴収

＜**翌年度新2年生（1年生で認定を受けている者）**

7月 上記（新1年生）と同じ手続き、3年生へ進級時も同様

【**就学支援金**】

毎月1日を基準日として国から逓に対し交付

【**在校生**】

年度途中の転学でも引き続きいれば不徴収制度継続

【**受給資格**】

受給資格認定は、一度認定すれば、卒業までは新たな申請不要

但し、7月に収入状況届と納税通知書等で確認する。

【**特別徴収税額の決定通知書等**】

市町村で発行する特別徴収税額の決定通知書等で確認（次のいずれかの書類）

- ・特別徴収税額の決定通知書
- ・納税通知書
- ・課税証明書
- ・非課税証明書
- ・生活保護受給証明書

【**一時差止通知**】

7月～翌年6月まで就学支援金不支給（授業料を徴収する。）

【**正当な理由**】

事故、災害等に限る。

支給認定者の事務処理イメージ

年 次	1年次		2年次	3年次
時 期	入学時	7月末	7月末	7月末
提出書類	受給資格認定申請書 平成27年度特別徴収 税額の決定通知書等	収入状況届出書 平成28年度特別徴収 税額の決定通知書等	収入状況届出書 平成29年度特別徴収 税額の決定通知書等	収入状況届出書 平成30年度特別徴収 税額の決定通知書等
認定期間				
支給期間	4月 → 6月	7月 → 翌年6月	7月 → 翌年6月	7月 → 翌年3月
電算処理	支援金非支給者は指定 口座から授業料振替	同左	同左	同左

・受給資格認定申請、収入状況届出等の手続きについては、その郡度、学校からお知らせします。

北海道教育委員会からのお知らせです。

返還する必要のない「奨学のための給付金」

～北海道公立高校生等奨学給付金制度のご案内～

1 「奨学のための給付金」とは？

全ての高校生が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる市町村民税所得割額が非課税の世帯に対して給付される、返還する必要のない給付金です。

2 「就学支援金」とは何が違うの？

「就学支援金」は、高等学校の授業料を支援する制度であり、「奨学のための給付金」とは異なる制度です。

3 「奨学のための給付金」と「就学支援金」のどちらも受給することはできるの？

それぞれの受給要件に該当する方は両方受給できます。ただし、「就学支援金」とは別に申請が必要です。

4 「奨学のための給付金」の受給要件は？

次の要件を満たす必要があります。

- (1) 基準日（平成 28 年 7 月 1 日現在）に高校生等が国公立の高等学校等に在学していること。
 - (2) 平成 26 年 4 月 1 日以降に国公立の高等学校等に入学していること。
 - (3) 基準日に保護者等が北海道に住所を有していること。
 - (4) 基準日に保護者等が生活保護法による生業扶助を受けていること。
- 又は、保護者等全員の市町村民税所得割額が非課税であること。

5 申請する時期はいつ頃？どこへ申請書を提出するの？

平成 28 年 7 月頃に学校を通じてお知らせしますので、7 月から 8 月の学校が指定する期日までに申請書を学校へ提出してください。

6 給付額は？

区 分	課 程	
	全日制・定時制	通信制
生活保護法による生業扶助受給世帯	32,300円	32,300円
市町村民税所得割額が非課税で第1子の高校生等がいる世帯	59,500円	36,500円
市町村民税所得割額が非課税で15歳以上（中学生を除く。）23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる第2子以降の高校生等がいる世帯	129,700円	36,500円

※ 北海道教育委員会以外にも各種就学支援の制度が実施されています。

詳しくは、「公益財団法人北海道高等学校奨学会（<http://www.do-shougaku.or.jp/>）」及び「独立行政法人日本学生支援機構（<http://www.jasso.go.jp/>）」のホームページを御覧ください。

【制度についてのお問い合わせ】

入学する高等学校等の事務室にお問い合わせいただくか、「北海道教育委員会のホームページ（<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/>）」を御覧ください。

別紙 ④

平成28年度奨学生募集について

平成28年4月8日

	出願資格・推薦基準	奨学金の種類及び支給額	書類提出期日
札幌市奨学生 (1～3年生が対象) ※全市で150名程度	出願資格 1. 本人が親が札幌市民であること 2. 平成28年4月に高等学校に在学している者 3. 学資に乏しいこと 4. 学業が優秀で奨学生にふさわしいこと 推薦基準 1. 最近3年間の全教科の学業成績が、総合して3.5以上であること 2. 奨学生としてふさわしい資質を具えた者で、品性、性格等が健全であること	奨学資金 月額 5,000円 入学支援資金 10,000円 (入学支援資金は第1学年に対して1度だけ支給) 返還義務はありません	申込書配布期日 4月15日(金)厳守 提出期限 4月25日(月) 厳守 事務室へ提出
北海道高等学校奨学会 (1～3年生が対象)	心身ともに健全で学業に精励し、修学の意込みがあり、学習・生活態度が高校生にふさわしい者であって、経済的理由により修学困難な者 (1)保護者が北海道内に住所を有する者 (2)(保護者が北海道内に住所を有しない者で)生徒本人が北海道内の高等学校に在学し、他府県が行う奨学事業の貸付を受けていない者 ＜寄附基準のめやす＞ 給与収入4人世帯の場合 収入が768万円以下 給与以外の所得4人世帯の場合 所得が314万円以下	貸付月額 10,000円 15,000円 20,000円 25,000円 から選択 貸付期間 正規の卒業期まで 無 利 子 貸付期間終了後1年返え置き12年以内 (大学等に進学した場合は在学中は返還猶予できる)	申込書配布期日 4月28日(木)厳守 提出期限 5月27日(金) 厳守 事務室へ提出

※ 出願希望者は、所定の申込用紙を渡しますので、期日までに事務室へ来てください。

※ その他の奨学金等については、募集がありしだい事務室前に掲示し、お知らせします。

高等学校新入生の保護者の皆様へ

御入学おめでとうございます。

北海道教育委員会は、入学されたお子さんが多くの友達や先生と出会い、楽しく充実した生活を送り、学習や部活動など様々な活動や体験を通して、未来を拓く人として大きく成長していくことを心から願っております。

御家庭におきましては、日ごろから、家族での触れ合いを大切にし、お子さんの願いや悩みをしっかりと受け止めるとともに、学校や地域と協力して、お子さんが心身ともに健やかに成長することができますよう、御支援をお願いいたします。

お困りのことがありましたら

お子さんの学校生活について、悩みや不安、お困りのことがありましたら、まず学校の先生に相談してください。

また、北海道教育委員会では、「北海道子ども相談支援センター」を設置し、いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みについて、子どもや保護者から直接相談を受け、問題の解決につなげる支援を行っています。

北海道子ども相談支援センター

●電話相談(無料、毎日 24 時間対応)
☎ 0120-3882-56

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

●来所相談(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

*上記電話相談で、予約の御案内をしています。

北海道立教育研究所 江別市文京台東町42番地

(予約電話)011-386-4520

お気軽に
御利用ください



このほか、各管内の教育局においても、電話による相談を受け付けていますので、こちらもお気軽にご利用ください。(平日の8:45～17:30)

◇ 空知教育局 0126-22-3912	◇ 上川教育局 0166-46-5243
◇ 石狩教育局 011-221-5297	◇ 留萌教育局 0164-42-5717
◇ 後志教育局 0136-22-2222	◇ 宗谷教育局 0162-33-7630
◇ 胆振教育局 0143-22-6594	◇ オホーツク教育局 0152-44-7262
◇ 日高教育局 0146-22-1325	◇ 十勝教育局 0155-23-4950
◇ 渡島教育局 0138-47-9177	◇ 釧路教育局 0154-43-1475
◇ 檜山教育局 0139-52-1123	◇ 根室教育局 0153-23-2715

